

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/2 >

参考値

(データ集約 : 8/14)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(下方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	
試料採取日時刻	平成25年8月3日 8時50分 ~ 9時20分		平成25年8月3日 8時50分 ~ 9時20分		平成25年8月3日 9時43分 ~ 10時13分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	9.9E-06	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.7E-05	0.01	2.4E-05	0.01	2.0E-05	0.01	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

NDとは、 $< \text{検出限界値} >$ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約6E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約2E-5Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約2E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約4E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約8E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/2 >

参考値

(データ集約 : 8/14)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部3階付近)		3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部3階付近)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時時刻	平成25年8月3日 9時43分 ~ 10時13分		平成25年8月3日 10時35分 ~ 11時05分		平成25年8月3日 11時20分 ~ 11時50分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	2.3E-05	0.01	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	5.4E-05	0.02	ND	-	ND	-	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10<sup>-</sup> と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約7E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約2E-5Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約2E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約4E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約8E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。